

## UTokyo Compass 1年経過成果報告

昨年9月にUTokyo Compass「多様性の海へ:対話が創造する未来(Into a Sea of Diversity: Creating the Future through Dialogue)」を公表してから1年が経ちました。自律的で創造的な大学活動の基盤となる「経営力の確立」、そして「知をきわめる」「人をはぐくむ」「場をつくる」との3つの視点(Perspective)から定めた20の目標のもと、これを実現するための具体的な行動計画は着実に進展しています。

本年6月には、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の実現に向けた第一歩として、「東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を制定しました。構成員の意識を醸成し、行動変容を促すためにキャンペーン活動を展開したほか、各部局での女性人事加速5カ年計画の策定も進んでいます。

グリーントランスフォーメーション(GX)に関しては、我が国が今世紀半ばまでに脱炭素(温室効果ガス排出量実質ゼロ)を達成するための経路と政策を議論するための産学連携プラットフォームETI-CGC(Energy Transitions Initiative – Center for Global Commons)を立ち上げました。また、本学は昨年10月にRace to Zeroへ参加し、本年10月末には温室効果ガス排出削減計画(UTokyo Climate Action)を公表しました。GXを先導する高度人材育成プロジェクト(Spring GX)を開始するなど、教育・研究分野でもさまざまな取組みが加速しています。

キャンパスの外に目を向けると、本年2月の終わりに突然起こった理不尽な軍事侵攻は、世界を大きく揺るがし、世界秩序の脆さをあらわにしました。世界規模課題が顕在化し、これまで前提としていた諸条件や常識が大きく変化する今日だからこそ、私たちはアカデミアとして過去から未来に向けて長期を見渡す視野に立ち、大学が果たすべき役割をしっかりと意識しつつ、新しい社会の構築に取り組まなければなりません。

「世界の公共性に奉仕する大学」として本学が担うべき役割はますます大きくなっています。これからもみなさんとの対話を実践し、大学としてのより良い在り方を目指していきます。

今後もUTokyo Compassの成果を随時お届けしていきます。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年10月31日 藤井 輝夫